



平成23年12月29日

各位

会社名 KFE JAPAN株式会社
代表者名 代表取締役社長 三島 一祥
(コード番号:3061 名証セントレックス)
問合せ先 管理本部総務部長 井上 和明
(TEL 045-474-1259)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成23年6月7日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 業績予想(連結)の修正について

平成24年3月期通期業績予想値(連結)の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回予想値 (A)	7,450	—	165	164	6,542.73
今回修正予想 (B)	5,239	54	6	△111	△4,436.29
増減額 (B-A)	△2,211	—	△159	△275	—
増減率 (%)	△29.6	—	—	△167.6	—
(参考) 前記連結実績 (平成23年3月期)	6,012	133	△172	△354	△14,689.31

※営業利益については、前回予想時点では合理的な算定が困難だったため、公表しておりませんでした。

2. 修正の理由

売上高につきましては、当社グループの創業以来からの事業である電子部品事業におきましては、第3四半期は販売の回復が見受けられるものの、当期第1四半期と第2四半期の落ち込み分をカバーしきれないというえ、最近のドル安円高の影響もあり、6,720百万円から5,171百万円に予想修正するものであります。また、環境関連事業におきましては、太陽光ソーラー事業の案件獲得ができなかったため、303百万円から30百万円に予想修正するものであります。リアリティプロダクツ事業におきましては、裸眼3D映像用モニターの製品化が遅れたため、427百万円から5百万円に予想修正するものであります。

利益面につきましては、電子部品事業におきましては利益を確保しているものの、他の事業におきましては、コストに見合う収益が確保できず赤字となっており、結果的には、経常利益は159百万円下回り、6百万円となる見込みです。また、当期純利益につきましては、過去の不採算事業を一掃するため、LED照明の合併事業からの撤退、3D事業の一部評価損失、エコバイク事業の一部評価損失等の特別損失を計上するため、275百万円下回り111百万円となる見込みです。

なお、本日「当社連結子会社の不適切な取引及び会計処理の判明について」を公表しておりますが、その影響額は含まれておりません。

以上